



本年、6月18日の大阪北部地震では、ブロック塀倒壊により下敷きになった小学生を含め、5名の方が死亡しました。

6月28日から7月8日にかけて西日本を中心とする広範囲に被害を与えた「西日本豪雨」（気象庁により「平成30年7月豪雨」と命名）では、死者数227名、行方不明者数10名でした。

8月下旬に発生した台風21号は、25年ぶりに「非常に強い」勢力で9月4日に日本に上陸し、特に近畿地方を中心に大きな被害をもたらし、13名の方が死亡しました。

9月6日3時8分頃、北海道胆振地方中東部を震源とするマグニチュード6.7の「平成30年北海道胆振東部地震」が発生し、厚真町では震度7を記録、41名の方が死亡しました。

このわずか2カ月で、以上の豪雨、台風、地震の被害による合計死者数は286名、行方不明者数は10名になります。亡くなられた方々に対しご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様方に謹んでお見舞い申し上げます。

日本は本当に災害の多い国で、いつでもどこにいても予期しない災害を経験する可能性があります。まずは、私達自身が防災意識を持って生活していくべきだと痛感しています。

## 2018年前半の 活動報告

2月1日

第23回日本集団災害医学会（横浜）にて  
勝村氏発表

「ICPO式DVIを用いた机上訓練の  
試み—多職種連携の意義を考究する—」

2月2日

海外視察：ニューヨーク市  
メディカルエグザミナー事務所  
熊谷氏視察



3月18日

広島大学歯学部にて「災害時身元確認研修セミナー」実施

講演:熊谷氏  
「東日本大震災の経験から—  
専門職同士の連携、  
他地域からの応援との連携—」



実習  
「インターポールの死後記録を  
利用しての机上訓練」



訓練後は災害食を体験!



4月2日

東京大学法医学教室にて、韓国の歯科法医学者である  
Lee Sang-Seob 先生、Roh Byungyoon 先生と  
アジアの歯科法医学  
教育等について  
ディスカッション  
実施



6月2日



国際的大規模災害 公開講座  
主催:岩手医科大学法科学講座  
協賛: JUMP  
講師: Jeidson Marques 先生  
(Universidade Estadual de Feira de  
Santana, Brazil: ブラジルの法歯学者)

7月28日

第37回 日本歯科医学教育学会総会および学術大会(福島)  
岡広子氏発表「歯学部学生を対象としたDVI机上訓練の  
試行とその評価」

8月25日

第17回 警察歯科医会全国大会(熊本)  
勝村氏発表「ICPO式災害犠牲者身元確認法の検討  
～多職種連携訓練を通して見えてきた課題と展望～」

## 2018年度後半の活動予定

- 9月30日 平成30年度 中国・四国地区歯科医学大会  
併催 第57回広島県歯科医学会 併催 第102回広島大学歯学会  
岡広子氏発表「他職種との連携のための DVI 机上訓練試行とその評価」
- 10月20日 日本法歯科医学会第12回学術大会(千葉)  
熊谷氏発表「災害犠牲者歯科的個人識別照合ソフトウェアの比較」
- 12月8日 第25回ファイザーヘルスリサーチフォーラム(東京)  
斉藤氏発表「日本におけるDVIシステム構築への取り組み」
- 2019年3月17日 9時～13時(予定) 第2回広島大学セミナー・机上訓練  
主催: 広島大学死因究明教育研究センター  
会場: 広島大学歯学部大講義室  
災害時身元確認をテーマとした講演およびインターポールの死後記録を利用したの  
机上訓練、他
- 2019年3月18～20日 第24回日本災害医学会総会・学術集会(鳥取)  
熊谷氏発表「International Congress in Mass Disaster への参加経験と  
これからの日本災害対応について」

### その他、関連行事のお知らせ

- 2018年10月20日 日本法歯科医学会第12回学術大会(千葉)  
大会長: 大森基夫(千葉県歯科医師会警察歯科医会副会長)  
会場: 京成ホテルミラマーレ 開催: 10時～17時
- 2019年1月15日 岩手県国民保護合同実働訓練(釜石市)  
会場: 釜石鶴住居復興スタジアム, 開催時間は12時～15時30分  
内容: ラグビーワールドカップ開催中に化学兵器、爆発物を使用したテロが発生、  
その対応訓練

# なんのマークか、ご存じですか？

①



②



③



特定非営利活動法人  
Digital北海道研究会HPより  
フリー素材画像をダウンロード

④



⑤



⑥



⑦



現在、JIS制定された災害種別図記号があります。  
ご自身でチェックしていただければと思います！

標識システム記載例



答えだよ



- ⑦ 大火災地震
- ⑥ 高潮津波
- ⑤ 洪水
- ④ 土砂崩れ
- ③ 避難所兼緊急避難所
- ② 避難所
- ① 緊急避難場所

旅行先や出張先で災害にあって被災した場合はどうしたらよいでしょうか？まずは、自分の判断で行動せずに、宿泊施設を頼り情報収集や安全の確保をしましょう。また、安否のやり取りは災害伝言ダイヤル171を活用しましょう。171に電話をかけると、災害用伝言ダイヤルセンターにつながるので、音声ガイダンスに従って、伝言の録音・再生を行います。伝言の保存時間は、登録から2日間です。また、避難場所には、それぞれの災害に適した用途が指定されているのをご存知でしょうか？大規模な火事、洪水などの際の避難には適していても、大地震による津波が発生した場合、その避難場所は低い箇所であり、避難に適していないという可能性もあります。避難所記号や災害記号を把握し、緊急避難する場合などは緊急避難所記号の横の災害種別記号をチェックしましょう。まずは、ご自身の身の安全を確保しましょう。